

平成21年12月定例議会での所信表明

ただいまから所信の一端を述べさせていただきます。

本日ここに平成21年度第9回酒々井町議会定例会を召集いたしましたところ、議員の皆様におかれましては、年末の多端の中ご出席を賜りまことにありがとうございます。

私は、この度の町長選挙におきまして町民の皆様の暖かいご支援によりまして、第44代酒々井町長に就任することができました。改めて心から感謝を申し上げます。

本日は、町長に再選いたしました初めての議会でありますので、ここで私の所信を申し上げさせていただきます。

さて、世界的な金融・経済危機の深刻度を増す中、急速に進む少子高齢化、地方主権や規制緩和、社会経済構造変化の進展、さらに政権交代による新内閣の発足による新たな国の仕組み等、まさに時代は大きな変革の時を迎えております。こうした中、私の町長としての1期4年間の町政運営は、大変厳しいものがございましたが、町民の皆様のご理解とご協力のもと、町の借金体質からの脱却を目指すとともに、町民福祉の向上と町の均衡ある発展を図るため、子育て支援をはじめ教育環境の整備、安全・安心のまちづくりなど、各種施策に取り組んできたところでございます。

おかげさまで、こうした私の町政運営に対し、町議会、また、多くの町民の皆様のご理解とご支援をいただき、深く感謝を申し上げる次第でございます。

町長としての2期目にあたりましては、大きく社会システムが変わろうとしている今、人口減少時代における町のイメージやまちづくりのあり方など、改めて検証・再評価を行いパラダイムの転換を図った取り組みが必要となっております。この様な認識に立ち、計画期間5年の折り返しとなりました第4次総合計画第3期基本計画の達成に向けたさらなる推進を図るとともに、現在策定に向けて作業が開始された新たな総合計画において、町民皆様のご意見をいただきながら、これまでのまちづくりの成果を活かし酒々井町のさらなる発展を遂げるために、取り組んでいかなければならないものと考えております。

懸案でありました県が実施する酒々井 I C 事業につきましては、スタートは遅れたものの、I C 本体工事が発注されるなど現在順調に進められており、骨格（背骨）をなす町道墨七栄線の一部町事業も財政的に必要最小限に整理し、見通しも立ちましたことから、まちづくりの第 2 ステージとして、中心市街地の活性化、バリアフリー化を始め、「まちの顔づくり」即ち、先進福祉「千葉県一」のモデル町づくりを進めるなど、ソフト事業を中心に酒々井町の歴史的文化遺産や恵まれた自然環境を活かし、人々の交流を通じて活力あるまちづくりを進めてまいります。

また、子どもたちがのびのびと健やかに育ち、そして高齢者等を地域全体で支え合い助け合えるまちづくりを進め、子どもから高齢者まで全ての人たちがいきいきと安心して暮らせる「コンパクトシティ酒々井」づくりをさらに進めてまいりたいと考えております。

次に、割高なものや無駄の排除では、1 つ、小学校用地（借地）の解消、2 つ、割高な土地改良事業債（借金）の解消に努めたい、このためには、町の一般財源が約 6 億円必要であります。これら過去の負の遺産の解消に向けて引き続き積極的に取り組んでまいります。

そのためには、安全・安心など喫緊の課題への対応のほか、中・長期的には行財政基盤の安定確保を図り、福祉施策の充実やさらなる子育て施策など、町民参加のもと「支え合い・助け合い」による持続可能なまちづくりを一歩ずつ着実に進め、確かな明日を築いてまいりたいと考えております。

即ち、子どもには夢を、青年には希望を、壮年には輝きを、高齢者には安全安心を届けてまいりたいと考えております。

そこで、

第 1 に「高齢者がいきいき暮らせる町」として

高齢者や障害を持つ人たちが、いきいきと安心して暮らせるユニバーサルデザインのまちづくり、保健福祉体制の充実、高齢者等を地域全体で支える「支え合い・助け合うまちづくり」に取り組みます。

第 2 に「子どもたちが健やかに育つ町」として

子育て支援の強化や安全の確保、教育環境の整備、特色ある教育活動を推

進し個性豊かでグローバルに活躍できる健全な青少年の育成に取り組みます。

第3に「町民だれもが安全・安心に暮らせる町」として

最優先課題である震災時に避難場所となる小中学校の耐震化と中川の治水対策など、子どもから高齢者まで町民一人ひとりが安全で安心して暮らせるまちづくりを目指し、地域住民と行政との連携により取り組んでいきます。

第4に「活力と活気にあふれる町」として

高齢化社会を迎えても持続可能なまちづくりの財政基盤となる農業・商業・工業の連携による産業振興策、酒々井 I C や南部地域新産業団地と中心市街地の活性化を図り、「コンパクトシティ酒々井」づくりに取り組んでいます。

第5に「歴史と文化を大切にした魅力ある町」として

酒々井の恵まれた自然景観の保全と歴史的文化遺産や地域資源を掘り起こし、観光振興による交流人口の増加を図るなど「水と緑」の魅力あるまちづくりを進めます。

以上、今後の町政運営の指針について申し上げましたが、酒々井町の豊かな自然と歴史を大切に、

やさしさと活力ある安全・安心な町

—やすらぎの里すいづくり— を進めてまいる所存でありますので、議会をはじめ町民の皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げ、私の所信の一端といたします。よろしくようお願い申し上げます。